

学友会報

発行
兵庫県立大学 学友会
神戸市西区学園西町8丁目2-1
電話 078-793-5081

ウェルカムキャンパス

新生・保護者に大学を紹介

商大祭や工大祭など大学行事に合わせて開催

学友会の活動の1つとして大学との連携推進事業があり、大学祭などに合わせて大学紹介事業を開催しています。内容は1回生の保護者に対して大学の紹介、意見交換、キャリアセンターと連携して就職状況や情報提供、大学施設案内ツアーなどを行なっています。

神戸商科キャンパス

愛校心がわいたと感想

平成27年11月1日の「商大祭」に合わせて行い、在学生の保護者98名（教員他スタッフ40名）が参加しました。

学部教員との懇談会、在学生・卒業生の学生生活の体験発表を通じて、キャンパスの現状や雰囲気（施設・学風）を知ってもらい、本学をより身近に感じてもらいたいとの思いから実施しており、参加者には概ね好評でした。子どもの学校に対する愛校心がわいたとの声も聞かれました。

姫路工学キャンパス

卒業後の進路に関心

同じく11月1日の「工大祭」に合わせて学部1回生の保護者を対象に行い、167名の方々（スタッフ等15名）にご参加いただきました。

学友会・姫路工業倶楽部の紹介お

キャンパスでウェルカムキャンパスが開催されました。1回生とその保護者が参加し、理学部長より学部の説明を受けました。

1回生は主に姫路工学キャンパスで授業を受けるため、理学部の教師と接する機会が少ないため、この日に研究室を公開し、教師との交流を通じて理学部への理解を図りました。

明石看護キャンパス

震災の教訓を生かした活動を紹介

平成27年5月17日の「樗まつり」に合わせて開催されました。樗まつりでは、約300名が参加し、出店での購買を楽しんだり、在学生による学部紹介、部活サークル紹介イベントなどが行われました。

また、午後からはけやき会主催のセミナーが行われ、約40名の方が参加しました。

今後の災害時に備え、できることは何か見つめる時間を持つようとの

姫路環境人間キャンパス

ゆりのき会では「知事と語る会」も

平成27年4月30日、姫路環境人間キャンパスでは「知事と語る会」を開催しました。学部生、教職員、ゆりのき会会員ら11人が参加しました。

兵庫県の行政と環境について井戸敏三知事の講話があり、その後教員および学生が研究成果を発表しました。そしてゆりのき会会員の田中満智子さん（13期）から「姫路短期大学卒業以来、食品づくりを仕事として」と題し活動報告がありました。ゆりのき会は、会長・副会長はじめ11名が出席しました。ホームカミングデーは平成25年7月7日に行われ、学部生、地域住民、ゆりのき会会員ら約210人が参加しました。

平成27年7月5日ホームカミング

大学のブランド 高める材料が着実に蓄積

兵庫県立大学理事長兼学長

清原正義



学友会の皆様には日頃たいへんお世話になり、厚くお礼申し上げます。このたびは本学は日経新聞による一部上場企業の人事担当者による卒業生評価ランキングで、全国15位、公立大学ではトップに位置しました。就職率も96%を超える高い水準を維持しています。このように「兵庫県立大学」のブランドを高める材料が、着実に蓄積されていることを実感しています。これも学生諸君の頑張り、教職員の努力はもとより、卒業生諸氏の活躍のおかげと感謝している次第です。今後とも魅力ある大学づくりに努めますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

思いから「阪神淡路大震災から20年～3つの立場から見た災害と防災～」を開催し、20年前の震災を教訓として活かすことができるような取組が紹介されました。

大学紹介に熱心に耳を傾ける1回生の保護者たち



よび大学紹介の後、「大学院が就職か？どうする進路選択？」「卒業生に語ってもらいます！」「在学生が語ります！」と親の最大の関心事でもある卒業後の進路を中心にした内容は、とても満足していただけたようでした。子どもにもぜひ聞かせたいという意見が多く聞かれました。

播磨理学キャンパス

研究室の公開と教師との交流

平成27年4月26日、播磨理学キ



行政と環境について講話をする井戸知事。向かって左隣は清原学長。

デーはエコフェスティバルとして開催されました。学部生や地域住民、ゆりのき会会員など320名が参加しました。模擬店・スタンプラリー・ビンゴゲーム等、ゆりのき会自主講座作品展示等のイベントが行われました。

3つの東京・東日本支部が合同懇親会 回を重ねて深まる親交

学友会からも事務局長が参加

淡
水
会
け
や
き
会
姫
路
工
業
俱
楽
部

平成27年11月14日、淡水会（経済・経営学部）、姫路工業倶楽部（工学部）、けやき会（看護学部）のそれぞれの同窓会の東京支部や東日本支部は、恒例の合同懇親会を東郷記念会館1階の「クラブ水交」で開催しました。参加人数は姫路工業倶楽部28人、淡水会20人の合計48人で、けやき会からは残念ながら今回の参加者はいませんでした。

淡水会の永井豊副会長、姫路工業倶楽部の井上明久支部長の挨拶のあと、藤尾純造氏（姫路工業大学昭和44年卒）の「あっ、そうだったのか!? ～

挨拶をする姫路工業倶楽部東日本支部長の井上明久さん（元東北大学総長）



高度1万メートルからのよもやま話～」と題した講話を聴きました。

氏は大学院修了後、一旦民間企業に勤務されたのですが、一念発起、パイロットになる夢を追い、日本航

空の国際線機長として活躍されました。普段あまり聞かないコックピットでの様子のお話にみなさん興味深く耳を傾けていました。学友会からは八木紘二事務局長が参加し、キャンパスツアーなど学友会活動を紹介しました。

各同窓会の東京支部の合同懇親会は平成18年10月31日に神田明神会館で開催したのが始まりで、その時は100人の参加があり、けやき会からも



各同窓会の垣根を越えた交流が、年を追うごとに深まっています

2人が参加しました。その後、淡水会と姫路工業倶楽部の支部が交互に幹事となり毎年開催しています。

第9回キャンパスツアー

豊岡ジオ・コウノトリキャンパス 玄武洞、県立但馬技術大学校を訪問

平成27年11月11日にキャンパス巡りバスツアーを実施しました。今回は豊岡ジオ・コウノトリキャンパス、玄武洞および兵庫県立但馬技術大学校を訪問しました。



【写真上】豊岡ジオ・コウノトリキャンパスの外観

【写真下】但馬技術大学校での記念写真、

三宮をバスで出発し、まず豊岡ジオ・コウノトリキャンパスを見学しました。ここには県立大学の地域資源マネジメント研究科があり、地球科学（ジオ）・生態学（エコ）・人文社会科学（ソシオ）という三つの学問分野を研究しています。そしてコウノトリとジオパークという但馬地域の自然資源のみならず、社会・文化資源を含めた地域資源全般をあつかい、より汎用性の高いマネジメント論に統合・昇華することに踏み出しています。

出石そばを食べた後、近くの玄武洞を観光しました。県立但馬技術大学校では大工さんの実習を見学したり、同校が製作した、省エネカー競技で燃費1リットル当たり2529キロの世界記録を持つ自動車の説明を受けました。



《編集後記》この学友会報は年2回の発行のため、記事の中には半年遅れもありますが、新鮮さを保つように編集していきたいと思っています。学部ごとの同窓会でも会誌を発行し、大学と卒業生とを結ぶのに工夫を凝らしておられます。大学は「大学そのものと、卒業生が車の両輪とならなければならない」とは、初代学長の熊谷信昭先生が学友会を設立する時に述べられた言葉です。その両輪をつなぐ「軸」が学友会や同窓会の役割だと思います。（K&A）

平成27年度から2巡目

県下に点在するキャンパスや研究所を訪問し、その雰囲気や活動を視察するバスツアーは、平成26年度で全キャンパスを一巡しました。平成27年度からの2巡目は大学関係だけでなく近隣の兵庫県関連施設や民間企業の見学も取り入れました。今まで訪問したところは次の通りです。

- 第1回 播磨理学キャンパス (H22.3.29) 西はりま天台
- 第2回 明石看護キャンパス (H22.9.9) 淡路緑景観キャンパス
- 第3回 人と歴史の博物館 (H22.12.3) 丹波森林動物研究所
- 第4回 コウノトリの郷公園 (H23.11.24) 玄武洞
- 第5回 応用情報キャンパス(スパコン京) (H24.6.6) 神戸商科キャンパス
- 第6回 姫路環境人間キャンパス (H25.11.14) 姫路工学キャンパス
- 第7回 淡路緑環境キャンパス (H27.2.25) 淡路夢舞台
- 第8回 明石看護キャンパス (H27.6.25) 川崎重工明石・西神戸工場
- 第9回 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス (H27.11.11) 県立但馬技術大学校